

# 波瀬周辺地区の 景観まちづくり

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です

令和5年度号  
No.3

令和5年10月 発行  
松阪市建設部都市計画課



## 松阪市景観計画を進めています！

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

その中で、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様に「もっともっと松阪市の景観を好きになってほしい」との想いで、まちなみ保全に取り組んでいます。



令和5年4月に松阪市景観計画の改定が行われ、波瀬地区が重点地区（候補）に追加されました。

波瀬周辺地区一帯の旧街道沿いの歴史的まちなみは、地域を代表する景観になるため、この地区の特性や価値を知っていただけるよう、今後も啓発を進めていきます。

※重点地区（候補）に追加されたことによる建築制限などはなく、候補地区指定前と変わりはありません。

## 和歌山街道「波瀬宿」について

元和9年(1623)に徳川頼宣が参勤交代の帰りに、この和歌山街道を通り、以後暫く参勤交代路として利用され、波瀬にも本陣・脇本陣が置かれ、吉野から高見峠を越えて伊勢国に入った最初の宿場町として発展しました。

波瀬宿には、本陣、脇本陣の他、伝馬所や高札場が設けられ、旅籠屋は4軒あったと言われています。

現在も、江戸末期に建てられた波瀬本陣跡や脇本陣などの建物も残り、脇本陣を務めた田中家主屋（国登録有形文化財）は、田中家資料館として波瀬宿のランドマークとなっています。



和歌山街道の宿場町、波瀬地区に咲く山ゆりは「波瀬ゆり」と呼ばれ、数が少なく、地域で保護されています。見頃になると、美しい被写体を求めるカメラマンが数多く集まります。



## 市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来にひきついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

### 【重点地区の位置】



A 通り本町・魚町一丁目周辺地区



B 市場庄地区



C 松坂城跡周辺地区



D 中万庄地区



### 当地区以外の重点地区（候補）を紹介します！

#### H 深野棚田地区

白猪山麓に位置し、深野だんだん田として、山の斜面に120段を数える芸術的な石積みみの棚田を見ることができます。



#### I 柳瀬新田・大溝新田地区

南勢地域最大の「深蒸し煎茶」の産地として、お茶を栽培する茶畑の文化的な景観が見られます。



#### J 大石町谷地区

山の斜面に芸術的な石積みみの棚田を見ることができます。先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれています。



#### K 相津地区

黒を基調とした下見板張りの主屋や離れ、土蔵、塀などで構成された建物と大きな屋敷地からなる歴史的景観があります。

